

教育研究（研修）の充実に関する研究グループ

①

新体力テストに関わる研修会（保健・体育班）

日時：平成30年5月24日（木）
場所：名寄市立名寄西小学校 体育館
講師：特別参与 名寄市スポーツ振興アドバイザー 阿部 雅司 氏
名寄市スポーツ・合宿推進課主査 豊田 太郎 氏
参加者：名寄市内小学校教員、中学校の体育科担当教員等 合計39名

日時：平成30年12月17日（月）
場所：名寄市立名寄小学校 体育館
講師：名寄市立名寄小学校 教諭 水間 達也 氏
参加者：名寄市内小学校教員、中学校の体育科担当教員等 合計44名

成果と課題

- 講師として招いた阿部氏、豊田氏の理論に基づいた説明は大変わかりやすく、指導技術等において知識を深めることができた。
- 水間先生の研修会では新学習指導要領における中学年のマット運動の取組が説明され、指導のポイントを学ぶことができた。
- 参加者も実際に体を動かし、体感することで、日常の授業実践に生かせる内容が多くあった。
- 期日については肯定意見が多かったが、小学校での運動会の取組が始まるもう少し前に実施できるとより効果が高いと考えられる。
- 講師の招聘や場所、時期、授業時数等を中心に総合的に検討し、参加しやすい体制作りを考えていかなければならない。

②

外国語活動・外国語科関わる研修（外国語班）

日時：6月15日（金） 場所：中名寄小学校
講師：久保 稔 教諭
ねらい
外国語活動及び英語科について、中学校への接続・連携を踏まえながらその基本的な理念を確認し、効果的な指導法の研修を通じて、教員の指導力の向上を図る。

日時：9月21日（金） 場所：名寄市立智恵文中学校
授業者：米田 真 教諭
児童及び生徒：智恵文中学校第1学年 智恵文小学校第6学年
ねらい
外国語活動及び英語科について、中学校への接続・連携を踏まえながらその基本的な理念を確認し、効果的な指導法の研修を通じて、教員の指導力の向上を図る。

成果と課題

- グループでのワークショップを通して、外国語活動や英語の実践的な指導方法を学ぶことができ、受講者にとって有意義な研修会となった。
- 新学習指導要領における外国語活動や英語科の指導のポイントについて学ぶことにより、小中連携や小小連携の重要性について確認することができた。
- 明日からの授業に取り入れることができるアクティビティを実際に体験し、学ぶことができた。
- 参加した教員の多くは、実践的な指導方法について学ぶことを望んでおり、今後もより実践的な指導方法を学ぶ研修を設定する必要がある。
- 英語のスピーキング力を課題としている教員が多く、実際に英語を話す研修が必要である。
- ALTを活用するなど教員の英語力を向上させる研修会を検討する。

③

名寄市の天文家 「木原秀雄」氏を題材にした郷土教材製作と研究授業（道徳班）

日時：9月25日（火） 場所：風連中央小学校
授業者：東 健太 教諭 児童：風連中央小学校第5学年
ねらい
「特別の教科 道徳」の授業研究を通して、実践的な指導方法や指導展開について研修し、教員の指導力の向上を図る。

成果と課題

- 木原氏を題材に読み物教材としての形ができあがった。
- 内容項目「努力と強い意志」に沿った授業研究を互いに深めることができた。
- 読み物教材について、今年度は対象学年を小学校高学年用に作成したが、表記が難しい部分もあり、来年度は更に読みやすい文章にしていかなければならない。
- 内容項目について、本教材を通して、子供たちにどのような力を身に付けさせたいかをもう一度吟味し、項目に沿った内容で文章の再構成が必要である。
- 「特別の教科 道徳」についての評価について、来年度の中学校での本格実施に合わせ、年度当初に名寄市全体で評価の方法や表記について交流する時間の設定も有用であると考えられる。

④

1年間の取組を振り返って

- 成果
 - ・道徳について、郷土教材を使用し、授業実践を行ったことで、指導を進める上での留意点などについて、グループ内での理解を深めることができた。
 - ・外国語科について、小学校を中心に授業実践をする上での課題を共有し、ウォームアップの方法やアクティビティの実際について発信できた事は大きな成果といえる。
 - ・体育実技研修について、講師を招いての研修は大変有意義であり、専門的な内容をわかりやすく解説していただいたことで、実技指導においての知識を深めることができた。
- 来年度に向けて
 - ・それぞれのグループの取組を、自校の先生方にしっかりと還流していく。
 - ・外国語科や道徳の評価について研修を深めていく。
 - ・授業研究の日程が他のグループと重なった日があったので、研究主任同士で定期的に研修の内容や実施日について交流していく必要がある。
 - ・授業時数等の関係で研修に所員や他の教員が参加しやすい時間設定や内容の更なる精選をしていく事が必要。